

【INDEX】

1. トピックス：【高性能多層プリント基板用フィルム出荷へ】
【建設廃材の再資源化の取り組み】
【透き通る A-PETシート「ディアクレール」開発】
2. 先端技術・研究：【熱可塑性プラストマー】
3. 技術情報：【プラスチック材料の物理・化学的性質の試験評価方法】
4. 商品情報：【H8765/YH416摺動グレード】(P.S.ジャパン)
【木粉配合ABS樹脂】(テクノポリマー)
【レマロイ(変成PPE)】(三菱エンジニアリングプラスチック)
5. Plastics-net.comサイト活用講座
【定性検索機能のご紹介!】

1 トピックス

【高性能多層プリント基板用フィルム出荷へ】

三菱樹脂(株)は、(株)デンソー開発の次世代高性能多層プリント基板に使用されるPEEK系熱可塑性銅張フィルム「IBUKI」の本格出荷を本年8月から開始します。

<http://www.mpi.co.jp/press/pr040602.htm>

【建設廃材の再資源化の取り組み】

木材にプラスチックを混合して出来る合成木材は、木材に無い耐久性に富んだ加工製品を作る事が可能なため、注目されており、今後の伸びが期待されています。

<http://www.construction-biz.com/topics/topics040630.html>

【透き通る A-PETシート「ディアクレール」開発】

三菱樹脂(株)は、高い透明性と光沢に優れるA-PETシートカット板「ディアクレール」を開発しました。「ディアクレール」ご使用により、商品のイメージアップを向上させる事ができます。

<http://www.mpi.co.jp/kinofi/kinofi09.htm>

2 先端技術・研究

【熱可塑性プラストマー】
(山形大学 井上 隆 教授)

PETを主成分にゴムなど複数の成分をアロイした新規“熱可塑性プラストマー”が開発されており、釘が打て、室温で深絞り加工など金属のように塑性加工が可能である等のユニークな特徴が紹介されています。

http://www.plastics-net.com/mail_news/0408/13_01.html

〔出典：工業材料 2003年6月号〕
日刊工業新聞社の許諾済

3 技術情報

プラスチック材料の物理・化学的性質の試験評価方法（吸水率、耐薬品性）
【プラスチック材料の各動特性の試験法と評価結果】
（安田ポリマーリサーチ研究所 所長 安田武夫）より

プラスチックがどんな薬品類と接触すると製品の外観悪化や物性低下を引き起こすかを知るのに参考となる耐薬品性データがまとめられており、製品設計の上で参考になります。

http://www.plastics-net.com/mail_news/0408/13_02.html

〔出典：プラスチック Vol.51 No.5〕
（株）工業調査会の許諾済

4 商品情報

【H8765/YH416摺動グレード】（P S ジャパン株式会社）

H8765及びYH416グレードは、ポリアセタールに匹敵する摺動特性を有し、極めて高い剛性と耐衝撃性も保持していますので、機械、電気・電子部品等にお使い頂けます。YH416グレードは、高い熱安定性が特徴です。

<http://www.psjp.com/catalogue/H8765.PDF>

【木粉配合ABS樹脂】（テクノポリマー株式会社）

本樹脂は、特殊な相溶化剤を用いており、優れた加工性を示します。また、木質感を有する材料設計が可能のため、敷居、巾木、手すり、扉、机の天板などの用途にお使い頂けます。

http://www.techpo.co.jp/jp/kenzai/206_ABS.htm

【レマロイ（変成PPE）】（三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社）

レマロイは、ポリフェニレンエーテル（PPE）を島に、PETやPP等の結晶性樹脂を海に配したポリマーアロイです。優れた特性により、自動車部品、電機電子部品、機械部品等幅広い用途にお応え出来ます。

<http://www.m-ep.co.jp/mep-j/tech/lemalloy/iso/index.htm>

5 Plastics-net.comサイト活用講座 「定性検索機能のご紹介！」

【今、製品設計しているこの部品に最適な樹脂を捜したい！】

今、開発中の、この用途の部品には、どんな樹脂が最適化を知りたい時に便利なのが、Plastics-net.comサイト内にある定性検索機能です。

定性検索機能では、「用途」「特徴」「成形方法」「樹脂名」及び「メーカー名」の5つのカテゴリーが用意されており、各々必要なカテゴリーについて、キーワード選択で必要な項目を選んで頂き、「検索実行」ボタンを押して頂ければ、商品名やグレードなどの該当する情報が一覧表示されます。
得られた検索結果は、My Page機能を使って、あなたの「My Page」に保存しておく事が出来ます。

<http://www1.plastics-net.com/>

メールニュースの配信継続の手続きをまだお済みでない方はこちら
< <mailto:mm-start@plastics-net.com> >
メーラーが立ち上がりますので、そのまま送信して下さい。

メールニュースの配信停止は
< <mailto:mm-stop@plastics-net.com> >
までお願いいたします。

メールアドレスの変更について
メールアドレスの変更は、プラスチックサイトに登録された方のみ可能です。トップページから「My Page」をクリックし、[メールアドレスの変更]をお選びください。
< http://www1.plastics-net.com/php/mypage/u_list_mypage.php >
登録されていない方は、下記宛てに直接ご連絡ください。

発行元：三菱化学株式会社 コーポレート営業推進部

お問い合わせ：

<mailto:3101289@cc.m-kagaku.co.jp>

お手数ですが、件名に「メールニュースへのお問い合わせ」とご記入
いただき、本文に、社名、部署名、氏名を明記の上、ご用件をお書き
ください。

COPYRIGHT(C) 2003

MITSUBISHI CHEMICAL CORPORATION

掲載されている記事・文章等は許可無く転用・転載はできません。